



議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会
●編集：議会広報委員会
●発行日：平成31年1月25日
●〒891-9295
鹿児島県大島郡知名町知名307
TEL 0997-93-3119

謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。本年は新元号の年、飛躍する知名町のさらなる発展に向けて議員一同取り組んで参ります。

知名町議会

主な内容

- ◆ 新年のあいさつ 2
- ◆ 第5回臨時会／第4回定例会のあらまし 3
- ◆ 一般質問 4～11
- ◆ 第5回臨時会／第4回定例会で審議された案件・自治功労表彰 12
- ◆ 検証レポート 13
- ◆ 議会の動き／編集後記 14

本年が皆様にとって
幸多い年に
なりますように！



ちなポー
知名町マスカットキャラクター



年頭の挨拶



知名町議会議長 平 秀 徳

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私は、昨年9月の議会臨時会におきまして議員各位のご推挙により議長に選任されました平 秀徳でございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、台風24号、25号の襲来によって農作物や園芸施設、家屋、牛舎等多くの被害が発生しました。基幹作物であるサトウキビも徐々に回復し、今期の生産見込量は82,500トンが見込まれ、12月10日、本島と喜界島が県内でトップの操業開始となりました。

また、国内では北海道胆振^{いぶり}（東部）地方を震源とする大地震や大型台風の襲来、西日本での集中豪雨によって多くの死者や大規模災害が発生しました。犠牲になられた方々へのご冥福と早期復興・復旧^{いふり}を願うものであります。

また、平成最後の年でもあると同時に明治維新150周年の記念すべき年でもありさらに一昨年は天皇・皇后両陛下がご来島になり島民に感激^{しみじみ}を与えました。三日間の想いを込めて^{こめ}皇后陛下が歌をお詠みになりました。「遠く来て、島人と共に過^あごしたる三日ありしを君と愛しむ」。

さらに、大河ドラマ「西郷どん」の放送など奄美、沖永良部が国内外から注目された年でもありました。

今年は、皇太子が新天皇に即位され新しい年号となりますが、奄美群島では平成30年度末で期限切れとなる奄美群島振興開発特別措置法の延長の要望・離島航路、航空路支援法、農林水産物輸送コスト支援事業に向けた整備を、郡島民一丸となり政府、国会へ要望する年でもあります。

また、本町では、昨年から学校給食センター、町営住宅建設の着工がなされ今後、新庁舎建設や水道水の硬度低減化事業、少子高齢化対策等課題は山積しております。私共は、これらの課題に議会と町執行部が切磋琢磨^{せつさくさく}して、農林水産業や商工業の振興・発展に全議員が一致協力して取り組む所存であります。町民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

新元年となる今年、町民の皆様にとって最良の年になりますよう心からお祈り申し上げて新年のご挨拶と致します。

平成31年 元旦



平成30年第5回臨時会・第4回定例会

第5回臨時会及び 第4回定例会のあらまし

知名町議会第5回臨時会は、11月9日に開催され、知名町立養護老人ホーム設置条例を廃止する条例1件を可決しました。

また、第4回定例会は、12月11日から13日の日程で開かれました。

今定例会では、町政全般に対する一般質問に8名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。

議案審議では、知名町子育て支援金条例の制定について審議され、反対、賛成の討論がなされ、採決の結果、起立多数で原案可決されました。（知名町子育て支援出産祝金の制度や出産の祝金だけでなく小学校・中学校及び鹿児島県立沖永良部高等学校の入学準備等についての祝金も含め、範囲や目的を拡充して子育て支援金を支給し、費用負担の軽減を図る）また、人事院勧告に伴う条例2件、知名町へき地保健福祉館等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例1件を可決しました。

補正予算審議では、一般会計及び国民健康保険特別会計など8会計の平成30年度補正予算を原案可決しました。

第4回定例会 一般質問

8名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。

4ページから掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。（質問順に掲載）

○ 中野 賢一 議員

1. 大型事業（庁舎建設）に伴う財政見通しについて
2. 水道水硬度低減化について
3. 知名町（大山）総合グラウンド「トイレ・他」改修又は改築について
4. 農業農村整備事業管理事務所について

○ 今井 吉男 議員

1. 農業振興策について
2. 役場新庁舎建設計画の進捗状況について
3. 町の貴重な財産である遊休施設及び遊休地の有効活用について

○ 福井 源乃介 議員

1. 教育の振興対策について

○ 名間 武忠 議員

1. 水道水の硬度低減化について
2. 行財政改革について
3. 道路整備について

○ 西 文男 議員

1. 緊急時の防災計画について
2. 台風災害について
3. 備品の見積入札について

○ 外山 利章 議員

1. 文化財の保存及び活用について
2. 災害への備えならびに対応について

○ 根釜 昭一郎 議員

1. 小中学校の空調（冷房）設備について
2. 次期知名町総合振興計画について

○ 新山 直樹 議員

1. 公園施設について
2. 道路行政について
3. 防災無線について
4. 下水道施設の効率的な運用について

大型事業に伴う財政見通しは

町長／財政指標は改善が見られるが厳しい財政状況



中野賢一 議員

問 大型事業（庁舎建設）に伴う財政について。

答 町長 平成29年度普通会計の決算における地方公共団体の財政状況や経営状況を示す健全化判断比率の各数値の状況は、赤字の会計がないことから実質赤字比率、連結実質赤字比率は発生しておりません。また、町債の返済額の標準的な収入に占める割合を示す実質公債費率は11・0％（平成28年度11・8％、平成27年度11・8％）、1年間の標準的な財政規模に占める町債等の割合を示す将来負担費率も67・6％（平成28年度81・4％、平成27年度99・9％）と各財政指標は着実に改善してきました。なお、平成29年度末の町債の残高は、83億300万円となっています。平成19年から29年までの10年間の平均は、72億8100万円となっており、近年、知名認定こども園園舎新築、田皆中学校屋内運動場新築など大型事業に取り組んでいるため、町債や各年度の公債費が増加する傾向にありま

す。平成30年度においても給食センター建設工事に着手しており、更なる町債の増加が見込まれています。現在予定されている必要不可欠な事業を先送りすることなく実施した場合、中期財政収支の試算では、平成32年度に公債費のピークを迎えるものの、33年度以降公債費は減少に転じるため、大型建設事業については、平成32年度以降の計画的な実施が求められます。議員ご指摘のとおり、自主財源に乏しく地方交付税に依存する財政状況であり、交付税措置のある有利な起債を活用しつつ、各年度の大規模建設事業の実施や町債発行額に限度を設けるなど、財政運営の平準化に努める必要があります。

問 水道水硬度低減化について。

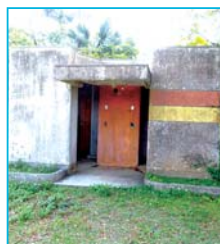
答 町長 硬度低減化事業については、先に行われた町民アンケート調査結果をもとに説明を行い、出席者の中から早期の事業導入の要望もありました。しかし、現在の国庫補助率四分の一での事業導入は難しいため、11月6日県選出の金子先生とともに関係省庁に陳情を行いました。厚労省の回答は、（四分の一）三分の一（現行の制度では補助率の嵩上げは難しいとの事でありましたが、何らかの方法が無いか検討してみることの事でした。また総務省からの回答は、水質安全対策事業として総務省所管の一般会計出資債

が該当する回答は頂いていません。今後の事業推進にあたり、水源開発及び水道事業の変更認可申請等は事前に行う進めたいと思っています。

問 知名町（大山）総合グラウンドトイレ・他」改修又は改築について。

答 教育長 大山総合グラウンドにつきましては、現在管理棟側に男女の水洗式トイレがあり、ほとんどの行事でこのトイレを使用しております。毎年開催される町民体育大会の際には、南西側の屋外トイレを使用することがあります。しかし現在は、老朽化が激しく、衛生面から敬遠されて使用されていない状況にあります。これまで改修等の指摘を受けて検討してきましたが簡易水洗式に整備する場

問 農業農村整備事業管理事務所について。



トイレ改修は

答 町長 同建物は、九州農政入居し利用しておりますが、地下ダム工事が完了する平成33年度末には明け渡しを受ける予定です。その後の利用計画については、新庁舎建設予定の1つとして「あしびの郷周辺」が候補地に上がっておりますので、庁舎建設基本計画検討委員会又は「まちづくり町民会議」等の議論の中でも、意見を集約し、利用計画の参考とさせていただきます。

今井吉男
議員

台風被害に対する支援策は

町長／支援策に対し県と協議中



台風により破損したハウス



誘蛾灯の管理状況は

問 役場新庁舎建設の財源としての庁舎建設基金残高は10月末で3億9080万円となっているが、基金だけでは到底足りません。緊急防災・減災事業としての庁舎等、公共施設建設に対する、国の有利な財政措置事業は、平成32年度までとなっているが、期限に間に合うのか。

答 町長 遊休施設の有効活用については、個別計画をもとに所管する課が行うが、老朽化が進んで有効活用できない施設は解体し、跡地活用について検討を行う。



旧住吉幼稚園



旧大山テニスコート場

問 本町の基幹作物であるサトウキビの30/31年産の生産量は当初、豊作が予想されたが台風24号、25号の被害を受けた。被災者に対する支援はできないか。

答 町長 サトウキビへの支援策としては、国の「サトウキビ増産基金」を活用した生産回復対策について、県との計画協議に入っている。

問 サトウキビ以外の台風被害状況と支援策について。

答 町長 サトウキビ以外の被害状況については、ガラス窓やソーラダコ等の農作物被害額537万4千円、ハウスや平張り、畜舎等の農業用施設被害額4521万円の被害

があり、被災者への支援策について、国の補正予算や、県に事業要望をしている。

問 本町の特産品であるシマ桑は、販売不振で「えらぶ特産品加工工場」の運営は、平成25年の操業以降赤字で、毎年一般会計から約1000万円から1200万円繰出している。現状の打開策として、各種イベントや町主催の各種会合において、シマ桑の試飲・販売を行い、販売促進を積極的に図る必要があるが。

答 町長 防除効果については、アオドウガネやカメムシなどの害虫防除に効果があり、維持管理については、農林課で行っている。

問 「おきのえらぶ食品リサイクルセンター」の液肥販売窓口は、現在、保健福祉課ですが、農家や利用者の利便性の観点から、「知名町有機物供給センター」を管理・運営している農林課に業務移管できないか。

答 町長 液肥販売窓口の一元化による農家等利用者の利便性向上の方策を検討する。

問 役場新庁舎建設地は、いつ決定するのか。

答 町長 「子や孫に誇れるまちづくりに向けて」のスケジュールで示した時には、2019年の早い段階としている。

答 町長 スケジュールに従い2020年を目途に予定通り新庁舎建設の着工予定。

問 町の貴重な財産である遊休施設及び遊休地の有効活用について。

学校施設へのエアコン整備は

教育長／国の特例臨時交付金で、来年夏に向け整備します



福井源乃介 議員



学校訪問

問 知名町こども議会であった、学校施設へのエアコン整備要望。国の補正予算が成立し、補助事業で整備する考えはありませんか。

答 教育長 国から冷房設備特例臨時交付金による補助制度が示されたので、来年の夏に向けて整備します。

問 教育が人をつくり、人が町をつくります。町も人づくりになりません。第13代教育長として、本町の教育行政をどう進めていきますか。

答 教育長 豊かな人間性と確かな学力を身に着け、より良い自分を目指して努力する人。様々な体験活動を通して



上城小前交差点（学校周辺ではスピードを落として）

自己有用感を高め、豊かな社会づくりの主體的に関わる人。ふるさとを理解し、ふるさとを愛し、ふるさとに尽くす人。を基本方針・目標として最終的にはふるさとに誇りを持ち、ふるさとの発展に尽くす人づくりをめざします。

問 知名町こども議会で、上城小学校児童代表から要望があった、正門前の信号機設置は。

答 教育長 信号機設置には一時間当たり交通量三〇〇台以上という条件を満たしていない為、設置は大変厳しい。児童

童の登下校時の安全確保を図る為、関係機関で必要な措置を講じていきます。

問 夏場の屋外作業にあたる用務主事等の為に、簡易シャワールームの設置が必要ではありませんか。

答 教育長 用務員室にも空調設備を設置しますので、適宜休憩・着替え等を行いながら作業をしていただきます。

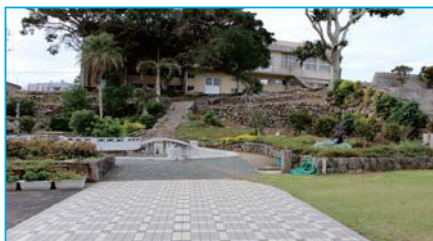
問 台風風の暴風や倒木により屋外照明が度々被害を受けています。電線の地中化が出来ませんか。

答 教育長 教育委員会と学校が連携して維持管理に努めています。被害発生後速やかに確認し順次修繕を行っていきます。電線の地中化については、有効性・費用対効果を勘案し適切に対応したい。

問 児童の握力低下が指摘され、雲梯や背の高い鉄棒の整備が必要ではありませんか。

答 教育長 遊具等の設置については、補助事業で導入できないが検討しています。

問 下平川小学校体育館の大規模改修工事に合わせて、渡り廊下設置の要望があります。



渡り廊下設置を

用等の検討が必要であり、濡れずに体育館に移動できるよう年次的に整備する計画をしています。

答 教育長 構造躯体、建設費用等の検討が必要であり、濡れずに体育館に移動できるよう年次的に整備する計画をしています。

問 田皆中学校校舎の雨漏りが発生し、長い時間が経過しています。抜本的な対策を講じるべきではありませんか。

答 教育長 雨漏り修繕費用を計上しており、現在調査中です。今後、調査結果を精査して、抜本的な対策を行います。

名間武忠 議員



硬度低減化の事業実施は

町長／早期の事業導入に向けた調査・業務委託等を年次的に予定

問 長年の懸案事項である水道水の硬度低減化に向けた国庫補助の嵩上げ及び早期着工への方策について。

答 町長 Ⅱ 現行の補助率 1/4 の嵩上げは難しい状況です。

早期着工に向け本年度から電気探査を行い次年度以降に水源開発調査・各業務委託を予定しています。

問 水源の特殊性から県の支援は受けられないか。

答 町長 Ⅱ 県へ確認の結果、上水道への補助事業は該当しないとのこと。

問 事業費 18 億円の積算及び財源計画について。

答 町長 Ⅱ 総事業費 18 億円のうち国庫補助事業費 15 億円を見込み、補助額は 3・7 億円、残りの 14・7 億円は水道事業債とし、償還期間は 30 年を予定しています。

問 硬度低減化の処理方法及び硬度の目標数値について。

答 町長 Ⅱ 硬度処理に多く使われている方法は、4 方式があり郡内の他町で行われている電気透析法を予定しています。目標数値については、おいしいとされている 80mg/L の硬度を考えています。

問 建設改良積立金の今後の見通しについて。

答 町長 Ⅱ 12 月現在、水道事業の現金保管状況は普通預金 2,592 万 8 千円、定期預金 1 億 7,300 万円、積立金は 4 条予算の補填財源として使用している状況であり、年々減少していることから新規積立は厳しくなっています。硬度低減化事業の実施については、料金見直しや有利な起債対象としての取り組みが必要となつてきます。

問 職員定数の見直しについて。31 年 3 月 31 日を以て鹿兒島事務所の開鎖、養護老人ホーム「長寿園」が民営化移管



水道管のスケールつまり

となり、定数減を行う必要はないか。

答 町長 Ⅱ 第 4 次行財政改革大綱の策定において、住民サービスに配慮した課の再編等を行い 2019 年度中に職員定数の増減を行う予定です。

問 庁舎建設基金の増額積立及び水道水硬度低減化事業の導入に向けた新たな基金積立の必要性について。

答 町長 Ⅱ 庁舎建設基金の現在額は 3 億 9 千万円あり、建設までに 6 億円とする予定ですが、硬度低減化については、財政的に厳しいことから計画をしていません。

問 町政懇談会（仮称：町づくり会議）の設置時期、また一部委員の公募制について。

答 町長 Ⅱ 「まちづくり町民会議」は今年中に設置、第 1 回目の会議を開催予定です。委員の公募については、広報 12 月号、防災無線や SNS 等で募集を行います。募集人員は 3 名以内としております。

問 町道 3 路線の整備について。

答 町長 Ⅱ 瀬利覚名畑線の一部未整備箇所（約 40 m）については、道路用地が筆界未定地であり、筆界確定が解消されず早期の改善は困難です。黒貴大堂線の瀬利覚地区の着工は、具体的な整備年度は確定していない。整備方法は路面洗掘の解消を行うための舗装事業を予定しています。知名東部循環線は重要路線であり、次期総合振興計画において、優先的な整備を予定しています。



瀬利覚名畑線（上側よりの景観）

町道の現況は、171 路線、実延長 22.2 km、改良率約 53%、延長 11.7 km、改良率約 53% となつています。

災害想定避難訓練は

町長／地震・津波を想定した避難訓練を実施



西 文男 議員

問 町の災害想定避難訓練実施はどうなっているか。

答 町長 町は毎年9月1日「防災の日」に知名町総合防災訓練を実施しており、地震津波を想定した住民の避難訓練と警察、消防署、自衛隊、消防団、隊友会と連携した避難誘導、救出救助訓練が主なものです。



救出救助訓練

問 災害避難訓練に台風時の避難訓練はできないか。

答 総務課長 地震津波等に関わらずいろんな、災害についての訓練も必要です。各関係機関と協議し、是非体制がと

れるように計画を立てて行きたいと思います。

問 大型台風24号、25号等の避難場所への避難状況は町内で何人位いたのか。

答 町長 台風24号は9月29日に再接近し気圧951ヘクトパスカル、最大瞬間風速は大山中継所で59・1メートルを記録し、29日の午前7時20分に町内全域に避難勧告を発表し、各字公民館へ自主避難された方はピーク時で、9月29日夜7時で68世帯127名でした。



救出救助訓練

問 町内各公民館は、防災拠点等も兼ねているので、全ての公民館へWi-Fi及びAEDの設置は出来ないか。

答 町長 各字公民館は災害時の避難所として指定されています。Wi-Fiの設置は国において防災、教育、観光で効果的な事業として公衆無線LAN環境整備支援事業を実施し、災害時の避難所において情報収集は重要でありWi-Fiの設置が求められていることは承知をしているところですが、平常時の利用頻度、費用の面等十分議論し、総合的に判断します。

問 各字公民館へのAEDの設置について。

答 町長 AEDの設置につきましても、心臓突然死の主な要因の心室細動の状態にある心臓をAEDの使用により、心筋のバラバラな動きを正常な状態に戻すことが出来、救急車が到着するまでの対応により生死を分けることになり



AEDの設置を

ます。設置につきましては、使用について、消防署の講習を受け、正しく操作を行える必要があり、各字区長を中心に設置条件、実際に使用する場面を想定していただき十分協議をする必要があると考えております。

問 本町の備品見積入札に関する業者数は、何業者ですか。

答 副町長 平成30年・31年度物品・役務関係4社となります。

問 見積入札方法は、どのような方法で行われているか。又入札の開封時の立会いはどのようにして行われているか。

答 副町長 入札を希望する担当課が受け付けをして、指名推薦委員会に諮り、指名業者を決定してから一定期間を設けて入札執行になります。又入札の執行開封の際は、担当課で進行し、入札執行の立会者は指名推薦委員長の副町長が行っています。

問 備品の購入について、町内業者で見積もりできないか。

答 副町長 平成30年度11月現在指名委員会受付の66件のうち22件が物品関係で特殊な物品を除く17件に関しましてはすべて町内業者を指名し入札執行しております。

外山利章
議員



国指定史跡 住吉貝塚の整備に向けた取り組みを

教育長／検討委員会を立ち上げ具体的なビジョンを作成。町の文化財事業の最重要課題と位置づけ進めて参ります

一、文化財の保存および活用について

問 本町は国、県、町指定の多くの優れた文化財を有している。観光や地域づくりの観点からその保存、活用が望まれるが町としての方針は。

答 教育長 町は文化財を調査、保存だけでなく、これからの文化財への興味・関心を高め次世代へ引き継いでいく責務があります。今後は観光や地域づくりの観点から保存と活用のバランスを図りながら地域や観光協会等の関係機関と一緒にソフト事業の導入を図っていききたい。

問 住吉貝塚は町政七十周年記念事業として公園整備が計画されていたが、いまだ手つかずとなっている。貴重な地域資源を活用する上でも整備に向けた取り組みを進めるべきと考えるがどのように取り組んでいくのか。

答 教育長 担当が遺跡の整備と活用が効果的になされている南種子町の広田遺跡を視察し、整備事業の在り方や活用について研修を行った。本町でもどのような整備を行うか

具体的なビジョンを作成し、具体策を検討していきたい。

あわせて専門分野の委員を中心とした検討委員会を再度立ち上げ、住吉貝塚やその周辺の魅力の憩いの場、観光も考慮した環境づくり、適切な予算で最大限の効果を発揮できるように本町の文化財事業の最重要課題と位置づけ、進めて参ります。



南種子町の広田遺跡

問 広田遺跡は公園整備や運営に「地域」が一定の責任を持ちながら関わることで持続可能な史跡整備を実現している。その意味からも検討委員会には地域住民、特に若い方々も入れ検討して欲しい。

答 生涯学習課長 専門分野の委員を中心にスピーディーに対応できる組織の構成に向けて、担当と構想を練っているので三十一年度にはそのように対応していきたい。



整備された広田遺跡

二、災害への備えならびに対応について

問 特定空き家の実態調査ならびに総合空き家対策の進捗状況は。台風シーズン前に計画を策定する必要があるのでは。

答 総務課長 現在消防団、区長会を通じ空き家の実態調査

を行っています。調査終了後、早急に取りまとめ関係部局と協議できる体制を整えたいと思います。

問 災害時の情報伝達手段としてWi-Fi整備を3月議会でご提案し、町独自の整備も検討と回答を得ているが協議はなされているか。

答 町長 Wi-Fi整備については町単独での整備になろうかと思えます。財政措置をどのように行うかが課題でありますので引き続き検討いたします。

問 台風24号では農作物並びに農業施設も大きな被害を受けた。町としての様な対策を計画しているか。

答 町長 農作物で1億6000万円、農業用施設で4300万円の被害額となっております。支援策と支援について、要望調査を踏まえ県との協議を進めております。そして、「さとうきび増産基金」は、国の「台風24号被害対策」や「肉用牛経営安定対策補完事業」等を活用し、復旧を図って参りたいと考えております。

小中学校の空調（冷房）設備について

教育長／来年5月末を目途に空調設備設置率100%にする予定で進めていく



根釜昭一郎 議員

問 本町の空調設備設置状況の結果はどうであったか。

答 教育長 調査日平成30年9月1日現在の空調設備設置状況は、小中学校の普通教室45教室中0教室、空調設備設置率0%、特別教室38教室中18教室、空調設置率47.4%です。また、認定こども園についても空調設置率100%、認定こども園きらきらは、保育室の空調設置率100%、特別室は75%となっています。

問 従来の学校施設環境改善交付金事業では、補助率が1/3ですが、今回の緊急対策事業はどうなるのか。本町負担はどの程度と想定しているのか。

答 教育長 冷房設備対応臨時特例交付金の申請状況ですが、普通教室、特別教室、その他、空調設置率100%になるよう申請しております。また、認定こども園きらきらの遊戯室は、空調設備が未設置ですので、空調設置率100%となります。

空調設置に係る概算工事費約1億5000万円のうち、交付金が1/3で約5000万円、残り起債1億円のうち元

利償還金の60%が交付税措置されるため、町負担は約4000万円となります。

問 空調設備のランニングコストはどのように考えているのか。

答 教育長 現在の電気料金ですが、小中学校合わせて約1000万円を支払っており、エアコン設置後の試算ですが、約1000万円ほど上がる試算をしております。財政負担等も重くのしかかってくるので、使用期間、使用温度等も役場に準じた使用基準を設定して、出来るだけランニングコストを抑えるような運用を考えています。

問 次期知名町総合振興計画の策定スケジュールはどのように考えているのか。

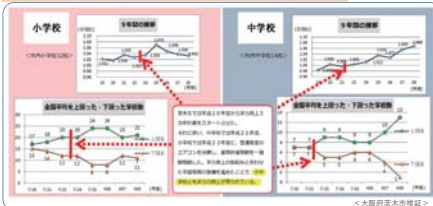
答 町長 現在、平成22年度から平成27年度の10力年で「第5次知名町総合振興計画」が進められており、また、平成27年

度から平成31年度までの5力年で「知名町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が進められております。どちらでも平成31年度をもって終期を迎えることから、二つの計画を一体型とした総合的な「第6次知名町総合振興計画」を念頭において作業を進めたいと考えているところであります。しかしながら、次期「知名町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、まだ明確な方針が定められていないことから、こういった形で

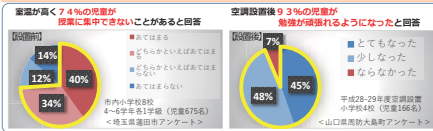
「第6次知名町総合振興計画」との融合を図っていくかについて苦慮しているところでは、国や県からの情報収集に努めてまいりたいと思います。策定のスケジュールにつきましては、現在、企画振興課において両計画の方向性等について検討を行っており、ま

空調設置による教育環境向上の効果

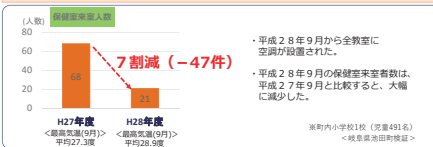
●事例1：学力向上（空調設置後学力の向上が見られる。）



●事例2：集中力向上（空調設置により集中力、学習意欲の改善が見られる。）



●事例3：疾病による保健室入室者数減（空調設置により健康面も改善する。）



●その他の効果

- ・夏休みの補習が効果的に実施できるようになった（4校/6校）。
- ・教職員の労働環境も改善し、指導しやすくなった（4校/6校）。

新山直樹 議員



フローラルパークの整備について

町長／平成31年度地域推進事業の一次要望を提出

問 フローラルパークに高学年の児童も利用できる遊具の設置はできないか。

答 町長 要望内容は現在遊休資産となり活用されていない観光農園を多目的運動広場として整備し、面積を拡大することにより、幼児から高齢者まで年代を問わず利用できる場をつくるものです。併せて子供アンケートにおいて要望のありました、バスケットゴール及びサッカーゴールを管理棟横の土コートに設置し高学年の児童にも利用できるよう計画を立てております。

問 大山野営場及びマリナーパークには、かつて木製アスレチック遊具が設置されていたが、今後はどのような計画がなされているのか。

答 町長 マリナーパークにつきましては、施設や設備等の点検・修理を行っております。木製アスレチック遊具は木材や接統金具等の腐食により危険と判断し7月に撤去いたしました。現在、沖永良部事務所建設課や県漁港漁場課へ、遊具も含め新たな整備事業が図れないか検討依頼を行っている状況です。大山野営場にも幾つか整備されていまして

が、経年劣化により撤去されております。今後は大山公園計画の中で観光面なども考慮しながら検討して参りたいと考えております。



遊具の撤去されたマリナーパーク

問 遊具について小学生を対象にアンケートをしているが、その結果は。

答 町長 対象児童は町内の5つの小学校の全児童367名に対し、回答は254名、回収率は約7割でした。乗り物やブランコ、滑り台といった遊具設置の希望が約5割ありました。また野球やサッカーなどのボール遊び、鬼ごっこやかかけっこなど走り回りたいとの回答が3割を超え、広い場所の提供が必要であると感じております。

問 中央通り線（南国スタンドからTマート前のT字路までの）道路改良（歩道設置）計画は。

答 町長 平成31年度の新規事業として国へ要望を行っている状況であります。平成31年度に新規事業採択をされた場合、平成31年度に測量設計、平成32年度に用地買収、平成33年から平成34年に工事着手の計画となっております。



中央通り線の道路改良を

問 児童の安全な通学路確保のため緑のカラー標示はできないか。

答 建設課長 全面ではなく外側線の外側に緑のライン標示をし、安全対策として道路維持管理費で可能だと思います。

問 町内全域に防災無線が不都合なく受信出来ているのか。

答 町長 防災無線につきましては音声が小さい、途中で切れる、全く聞こえないなど、問い合わせがあり、その都度町内の点検業者に修理を依頼し個別に対応しています。今年も30件程度問い合わせがありその都度対応いたしました。修理内容は外部アンテナを設置し受信出来るように対応しています。

問 公共下水は建設課、農集排、合併処理浄化槽は耕地課となつていますが事務作業などを効率的に運用するには以前あった水道課との一元化が望ましいと思うが。

答 町長 町民の皆さんがサビスを受けやすい体制づくりに努めるのが行政の役割でもありますので、皆様からの意見も伺いながら、新庁舎建設に向けて、課の統合再編についても考えて行きたいと思っております。

平成30年第 5 回知名町臨時会で審議された案件

議案番号	付 議 件 名	議決結果
報告第56号	知名町立養護老人ホーム設置条例を廃止する条例について	原案可決

平成30年第 4 回知名町議会定例会で審議された案件

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第57号	知名町職員の給与に関する条例及び知名町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正する条例について	原案可決
議案第58号	知名町長等の給与等に関する条例及び知名町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第59号	知名町立へき地保健福祉館等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第60号	知名町子育て支援金条例の制定について	原案可決
議案第61号	平成30年度知名町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第62号	平成30年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第63号	平成30年度知名町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第64号	平成30年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第65号	平成30年度知名町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第66号	平成30年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第67号	平成30年度知名町土地改良事業換地清算特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第68号	平成30年度知名町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
発議第4号	議員派遣の件について	決 定
決定第5号	閉会中の継続審査の件について	決 定
決定第6号	閉会中の継続調査の件について	決 定



自治功労表彰

福井源乃介・奥山 直武議員が町
村議会議員として10年以上在職
したとして、第61回奄美群島市
町村議会議員大会（徳之島大会）
で、自治功労表彰を受ける。
今後の活躍に期待します。



あの一般質問はどうなった？

議会における議員からの一般質問、それに答える町執行部、その答弁がその後どうなったか？どう町政に反映されたのか。定例会での一般質問の中から一部ピックアップして検証しました。



子育て対策・子育て支援・出産祝い金の拡充について

(平成30年3月・6月定例会 今井 吉男・西 文男・中野 賢一・福井源乃介議員)

町長答弁 平成30年度内を目的に他市町村の取組状況を参考にしながら、出生率の向上による少子化対策と子育て支援の両面により、より効果的な支援制度となるよう制度改正を行い、平成31年度から実施できるよう取り組んで参ります。

こうなりました

平成30年12月定例会において「知名町子育て支援金条例」の制定について提案され、審議の結果原案可決されました。

支援内容は、小学校、中学校及び鹿児島県立沖永良部高等学校の入学準備等についての祝金も含め、範囲や目的を拡充して子育て支援金を支給することにより、子育てに要する費用負担の軽減を図るとともに、次世代を担う子どもの健やかな成長に寄与するよう制定されました。



旧園舎等の活用計画について

(平成30年3月定例会 新山 直樹議員)

町長答弁 子ども園「すまいる」の開園によって、遊休施設となった知名幼稚園遊戯室については、「放課後児童クラブ」実施施設として改修利用する予定でしたが、調査の結果、経年劣化が進んでおり改修に多額の費用を要することが明らかになったため、事業実施に必要な面積を確保した建物を新築した場合と比較検討した結果、現建物を解体撤去し新たに「放課後児童クラブ」施設を同敷地内に新築することとします。

こうなりました

12月22日(旧知名幼稚園跡地)において、本町第1号となる公設の「放課後児童クラブしらゆり」が完成しました。木造平屋で活動や学習などに使用するプレイルームを整備、町内小学生が対象で定員は40名。放課後児童支援員や補助員など7人体制でサポートします。



放課後児童クラブしらゆり



みんなでおやつタイム「いただきます」



議会を傍聴してみませんか。

議会の定例会は、年4回(通常3月、6月、9月、12月)開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

提出された議案は、本会議において提案理由の説明、質疑、討論、採決されます。また、議員が一般質問を行うのも本会議です。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができますので、お気軽にお越しください。

9月

- 26日 第3回知名町議会定例会(2日目)
- 27日 第3回知名町議会定例会(3日目)
- 白百合大学敬老会(知名町中央公民館)
- 知名町生涯学習フェスティバル実行委員会(あしびの郷・ちなりハルサル室)

10月

- 1日 上城小学校運動会
- 2日 議会ボランティア(大山グラウンド)
- 各小学校運動会
- 5日 総務文教常任委員会
- 9日 知名町給食センター起工式
- 10日 平議長 南海日日新聞取材
- 12日 平成30年度奄美大島法人会知名支部報告会
- 13日 各認定こども園運動会
- 14日 第25回海人まつり
- 18日 第31回日本鍾乳洞サミットin知名町(フーラル館)
- サミット交流会(フーラル館)
- 19日 全国沖洲会連絡協議会総会(和泊町防災センター)
- 21日 全国沖洲会連絡協議会交流会(うぐら浜)
- 23日 第1回知名町産業フェア(町民体育館)
- 31日 県産材の利用促進に関する要望活動
- 第2回知名町図書館協議会及び読書活動推進協議会(知名町中央公民館)

11月

- 1日 国保運営協議会(城山ホテル鹿児島)
- 国保トップセミナー(城山ホテル鹿児島)
- 鹿児島県人世界大会 歓迎レセプション(城山ホテル鹿児島)
- 鹿児島県人世界大会 歓迎フェスティバル(鹿児島市浜町)
- 2日 生涯学習フェスティバル前夜祭(あしびの郷・ちな)

11月

- 3日 生涯学習フェスティバル 展示(町民体育館)
- 4日 生涯学習フェスティバル式典・講演・舞台発表(あしびの郷・ちな)
- 7日 議会議員学校訪問
- 9日 第5回知名町議会臨時会
- 10日 平成30年度学習発表会
- 12日 共生・協働研修会(フーラル館)
- 13日 沖永良部与論地区広域事務組合議会第一回臨時会(与論分遣所)
- 14日 奄美群島広域事務組合議会定例会(与論町)
- 奄美群島広域事務組合 合同懇親会(与論町)
- 奄美群島広域事務組合 視察(与論町)
- 15日 奄美群島広域事務組合 合同懇親会(与論町)
- 16日 平和の塔献花祭(大山野営場)
- 護国神社慰霊祭(神山神社境内)
- 遺族会総会並びに交流会(フーラル館)
- 17日 第31回奄美群島農業祭 交流会(天城町)
- 18日 第31回奄美群島農業祭 式典・現地視察(天城町)
- 19日 総務文教常任委員会
- 20日 離島議長全国大会(東京都)
- 21日 第62回町村議会議長全国大会(東京都)
- 23日 子ども芸能祭(あしびの郷・ちな)
- 24日 第39回知名町PTA研究大会(あしびの郷・ちな)
- 26日 経済建設常任委員会勉強会
- 27日 離島町村議会議長行政調査(種子島)

12月

- 6日 議会運営委員会
- 8日 第2回はつぴようかい(すまいる)
- 9日 知名町商工会合同忘年会(フーラル館)
- 10日 消防団消防署合同忘年会(フーラルホテル)
- 11日 第2回何でもくくく・親睦グラウンドゴルフ大会(フーラルパーク)
- 12日 平成30年/31年期搬入出苑式(南栄糖業)
- 第4回知名町議会定例会 開会



あけまして
おめでとう
あけまして
おめでとう



希望に満ちた輝かしい平成三十一年の新春を皆様ご健勝にてお迎えのこと、心からお待ちしております。また、本町の町政運営ならびに議会活動に対し皆様のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は町執行部体制が一新し、新しい町政運営の方向性が示されたことから、議会における議案審議でも活発な議論が交わされました。インターネットによる議会中継や議場で傍聴される町民の皆様も大幅に増え、議会への関心が高まりつつあります。

「具体的施策の最終決定」と「行政運営の監視」という町民にとって重要な2つの役割を担う議会への関心を今後とも持続していきたいです。また、今年度の議会活動の充実はもちろん積極的な議会広報などを通じて努力して参ります。

町民の代表機関としての議会が、地域における民主主義の発展と町民福祉の向上が図れるよう私共十二名の同僚議員全員が心身共に新たな気持ちで取り組んで参ります。本年も変わらぬご指導、ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

議会広報委員 外山 利章